

H16.4.20 郵送

手 続 補 正 書

(法第11条の規定による補正)

特許庁審査官 殿

1. 国際出願の表示 PCT/J P 0 3 / 0 8 4 3 7

2. 出 願 人

名 称 ダイハツ工業株式会社

DAIHATSU MOTOR CO., LTD.

あ て 名 〒563-8651 日本国大阪府池田市ダイハツ町1番1号

1-1, Daihatsucho, Ikeda-shi, Osaka 563-8651 Japan

国 籍 日本国 Japan

住 所 日本国 Japan

3. 代 理 人

氏 名 (10351) 弁理士 岡本 寛之

OKAMOTO Hiroyuki



あ て 名 〒541-0048 日本国大阪府大阪府中央区瓦町4丁目8番

5号 瓦町NKビル

Kawaramachi NK Building, 8-5 Kawaramachi

4-chome, Chuo-ku Osaka-shi, Osaka 541-0048 Japan

4. 補正の対象

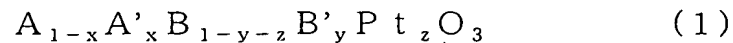
明細書および請求の範囲

5. 補正の内容

「明細書」および「請求の範囲」を別紙差し替え用紙のとおり、補正する。

補正事項は以下のとおり。

(1) 明細書第3頁第11行に、「また、本発明の触媒組成物は、一般式(1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'は、アルカリ土類金属およびAgから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Fe、Mn、Alから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B'は、Pt、Fe、Mn、Co、希土類元素以外の遷移元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、xは、 $0 < x \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、yは、 $0 \leq y < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、zは、 $0 < z \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示す。)

で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴としている。」と追加補正する。

(2) 請求の範囲第22頁第25行に、「5. 一般式(1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'は、アルカリ土類金属およびAgから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Fe、Mn、Alから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B'は、Pt、Fe、Mn、Co、希土類元素以外の遷移元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、xは、 $0 < x \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、yは、 $0 \leq y < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、zは、 $0 < z \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示す。)

で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、触媒組成物。」と追加補正する。

6. 添付書類の目録

(1) 明細書(第3頁および第3/1頁)の差し替え用紙

(2) 請求の範囲(第22頁および第22/1頁)の差し替え用紙

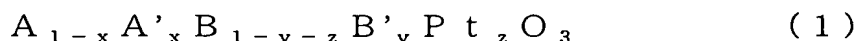
で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴としている。

また、本発明は、一般式（１）において、Ａが、Ｌａ、Ｎｄ、Ｙから選ばれる少なくとも１種の元素を示し、Ａ'が、Ｍｇ、Ｃａ、Ｓｒ、Ｂａ、Ａｇから選ばれる少なくとも１種の元素を示し、Ｂ'が、Ｒｈ、Ｒｕから選ばれる少なくとも１種の元素を示すことが好ましい。

また、本発明は、一般式（１）において、ｙおよびｚは、 $0 < y + z \leq 0.5$ の関係を満たすことが好ましい。

また、本発明は、一般式（１）において、ｘおよびｚが、 $x = z$ （ただし、Ａ'がＡｇの場合には、 $2x = z$ ）の関係を満たすことが好ましい。

また、本発明の触媒組成物は、一般式（１）



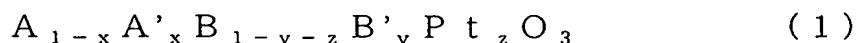
（式中、Ａは、３価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素から選ばれる少なくとも１種の元素を示し、Ａ'は、アルカリ土類金属およびＡｇから選ばれる少なくとも１種の元素を示し、Ｂは、Ｆｅ、Ｍｎ、Ａｌから選ばれる少なくとも１種の元素を示し、Ｂ'は、Ｐｔ、Ｆｅ、Ｍｎ、Ｃｏ、希土類元素以外の遷移元素から選ばれる少なくとも１種の元素を示し、ｘは、 $0 < x \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、ｙは、 $0 \leq y < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、ｚは、 $0 < z \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示す。）

で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴としている。

発明を実施するための最良の形態

本発明の排ガス浄化用触媒は、一般式（１）

上記目的を達成するために、本発明の排ガス浄化用触媒は、一般式（１）



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'は、アルカリ土類金属およびAgから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Fe、Mn、Alから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B'は、Pt、Fe、Mn、Co、希土類元素以外の遷移元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、xは、 $0 < x \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、yは、 $0 \leq y < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、zは、 $0 < z \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示す。)

) で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含んでいる。

10 すなわち、この複合酸化物は、ペロブスカイト型構造であって、Aサイトには、Aで示される3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素、および、A'で示されるアルカリ

請 求 の 範 囲

1. 一般式 (1)



- 5 (式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'は、アルカリ土類金属およびAgから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Fe、Mn、Alから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B'は、Pt、Fe、Mn、Co、希土類元素以外の遷移元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、
10 xは、 $0 < x \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、yは、 $0 \leq y < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、zは、 $0 < z \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示す。)

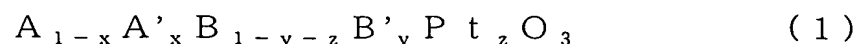
で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、排ガス浄化用触媒。

- 15 2. 一般式 (1) において、Aが、La、Nd、Yから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'が、Mg、Ca、Sr、Ba、Agから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B'が、Rh、Ruから選ばれる少なくとも1種の元素を示すことを特徴とする、請求の範囲第1項記載の排ガス浄化用触媒。

- 20 3. 一般式 (1) において、yおよびzは、 $0 < y + z \leq 0.5$ の関係を満たすことを特徴とする、請求の範囲第1項記載の排ガス浄化用触媒。

4. 一般式 (1) において、xおよびzが、 $x = z$ (ただし、A'がAgの場合には、 $2x = z$) の関係を満たすことを特徴とする、請求の範囲第1項記載の排ガス浄化用触媒。

- 25 5. (追加) 一般式 (1)



(式中、Aは、3価以外に価数変動しない希土類元素を必ず含む希土類元素

から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、A'は、アルカリ土類金属およびAgから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、Bは、Fe、Mn、Alから選ばれる少なくとも1種の元素を示し、B'は、Pt、Fe、Mn、Co、希土類元素以外の遷移元素から選ばれる少なくとも1種の元素を示し、
5 xは、 $0 < x \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、yは、 $0 \leq y < 0.5$ の数値範囲の原子割合を示し、zは、 $0 < z \leq 0.5$ の数値範囲の原子割合を示す。)

で表されるペロブスカイト型構造の複合酸化物を含むことを特徴とする、触媒組成物。